



平成23年9月12日

ガバナー卓話

国際ロータリー第2750地区ガバナー

片倉 章雄 様

皆様こんにちは。本日は本年度のRIテーマと強調事項、地区強調事項と重点目標をお話しさせていただきます。

本年度のRIテーマは「心の中を見つめよう、博愛を広げるために」です。深く自己を省みることによって人類がみな同じ夢、希望、問題を分かち合っていることを理解していただきたいというRI会長の言葉を胸に、これを来年度のテーマとして進んでまいりたいと思います。

RIの強調事項は家族、継続、変化です。「家族」は、私たちの目標のすべてが家族を中心にとらまえているところからきております。ともすれば文明社会の中で希薄になりがちな「家族」がどれほど人の根底に関わる絆であるか、今回の震災で深く実感したのは私だけではないと存じます。第2の「継続」。きれいで安全な水の提供、識字率の向上、そして新世代という新たな奉仕部門を通して明日のリーダーとなる青少年を育成する活動が、継続、進化しなくてはなりません。第3は「変化」。刻々と様相を変える課題、変わり続ける文明、経済、価値観に対応し、我々の活動も変化していかなくてはなりません。

地区強調事項は2項目。クラブにおける長期計画の立案と推進、もう1つは職業奉仕の理念を基盤とした5大奉仕活動の推進です。長期計画には3つの優先事項、クラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と増加、公共イメージと認知度の向上が設定されています。5大奉仕活動の中で、職業奉仕はこんな時代にこそ礎とすべきであり、ロータリアンは各自の職業を通じて技能と専門知識を提供し、

関わった人々に意欲と感動を与えてまいりたいと思います。

地区重点目標としてはまず会員基盤の強化。ポイントは会員の維持増強、各クラブ1名以上の純増、地区として1クラブ以上の拡大です。

ここでたびたび言われるのが、年齢、女性、職業分類です。先の地区協議会で若年会員への配慮として地区人頭付加金の半額化が決議されました。将来のロータリーのために若年会員に門戸を大きく広げていただきたいと思えます。次の重点目標はロータリー財団への支援です。毎年のクラブの寄付目標は、今一歩達成に至らず終了しています。ぜひ多くの会員の方に寄付増進のお力をいただきたいと思えます。もう1つの柱は米山記念奨学会への支援です。地区として計8000万円以上を目標とします。米山の事業は多地区合同活動として全国のロータリアンで支え、財団設立以来50年で世界の1万6千人の奨学生を支援してきた、国内で民間最大の奨学事業です。

この1月、サンディエゴでのガバナー研修で、私、来年度RI会長の田中先生からロータリーは楽しむものだよと言葉をかけられました。ロータリーは奉仕の楽しさを会員みんなが味わうことで維持できるのだと思います。皆様のお力でみんなが楽しい1年だったと思えるようになることをお祈りしております。ありがとうございました。

